

イギリス工芸運動と濱田庄司

1900s—1930s・工匠たちのユートピア

1998年8月8日(土) — 9月15日(火)

開館時間＝午前10時—午後6時まで(入場は午後5時30分まで)
金曜日は午後8時まで(入場は午後7時30分まで)

休館日＝月曜日

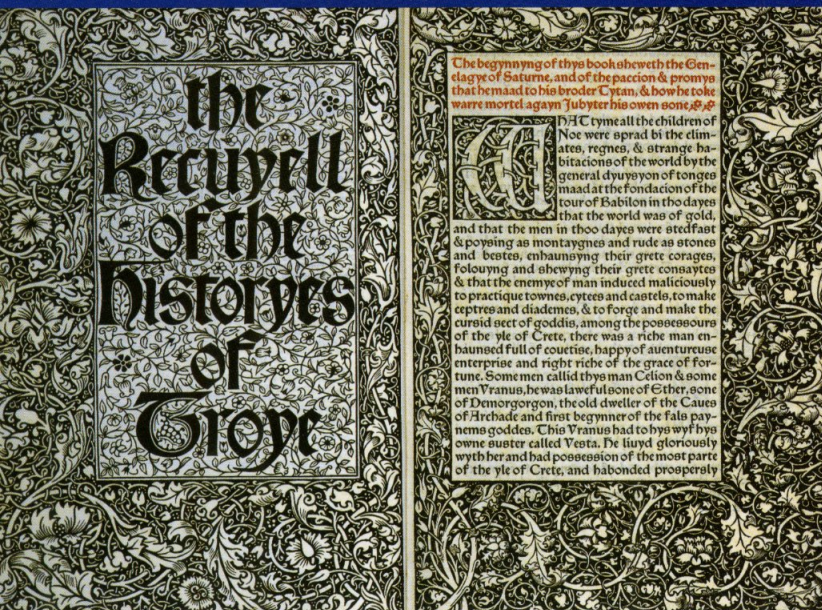
千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

主催＝千葉市美術館・東京新聞
後援＝日本民芸協会・英国大使館・ブリティッシュ・カウンシル
助成＝国際交流基金 協力＝日本航空 企画協力＝アルティス

入場料＝一般800円(640円) / 大学・高校生560円(450円) / 中・小学生240円(200円)
()内は団体30名以上および前売料金

ハローダイヤル＝043-227-8600

ウィリアム・モリス(ケルムスコット・プレス) 『トロイ戦史抄』 1892年 武蔵野美術大学美術資料図書館蔵



濱田庄司 〈ガレナ釉星牛図大皿(筒描銘:庄)〉 1921—23年頃 個人蔵



キャサリン・ヘロン 〈青・淡黄・茶・緑の縞の敷物(部分)〉 1960年頃 / パトリック・ヘロン氏蔵



熊代重延 〈裝飾電燈傘〉 1937年 益子参考館蔵



エドワード・ジョンソン 〈ロンドン地下鉄ハマースミス駅の駅名表示板〉 1965—93年頃(デザイン原案1930年代) ロンドン交通博物館蔵

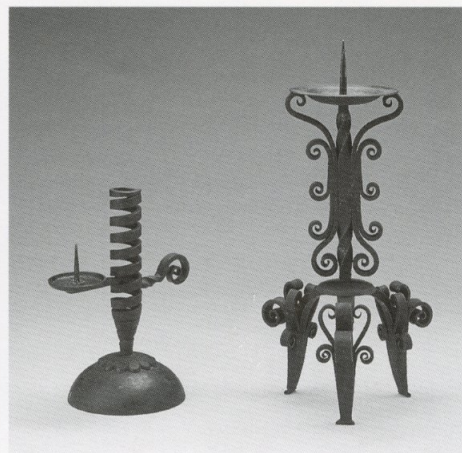
THE ENGLISH ARTS & CRAFTS MOVEMENT
and HAMADA SHOJI



バーナード・リーチ 〈ガレナ軸筒描人魚文大皿〉 1925年 大原美術館蔵



チャールズ・R.アッシュビー 〈ブローチ〉 1900年頃
チェルトナム・アート・ギャラリー&ミュージアム蔵



熊代友宣 〈燭台〉 1950年代 個人蔵

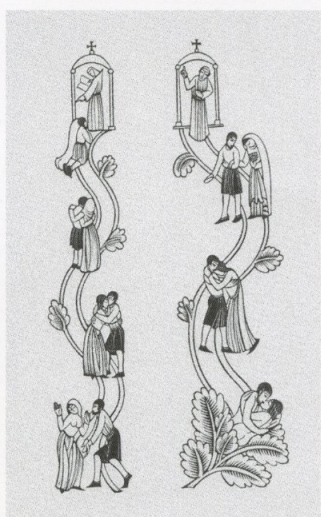
イギリス工芸運動と濱田庄司

1900s-1930s・工匠たちのユートピア

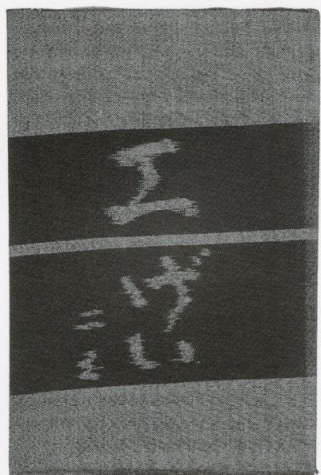
1920(大正9)年、濱田庄司は、バーナード・リーチの強い誘いに従って、イギリス西南端の港町セント・アイヴスを訪ねました。二人は、協力してこの地に日本式の登り窯を築き、繊細で美しい作品を数多く制作しました。当時のイギリスは、画家、彫刻家、工芸家たちが都市の喧噪から離れて、芸術家村(コロニー)や工芸家集団(ギルド)を形成し、多彩な活動を展開していました。濱田はセント・アイヴスとディッチリングの美術家・工芸家たちのくらしぶりに強く影響を受けて1924(大正13)年帰国し、間もなく終生の活動の拠点を栃木県益子に定めます。さらにこれと前後して、柳宗悦、河井寛次郎らと「民藝」運動を提唱することになります。

この展覧会は、濱田庄司とバーナード・リーチを軸として、1900年前後から1930年代までを中心にイギリス工芸運動の動向をとらえ、日本の民藝運動のひとつの精神的な原点を確認しようとするものです。日々のくらしを構成するあらゆるものに美を求め、自身の手によってそれを形にしようとする信念において、彼らは民族や国境を超えて結ばれていました。約200点の展覧作品から、彼らの思い描いた「手仕事の理想郷」を体験していただければ幸いです。

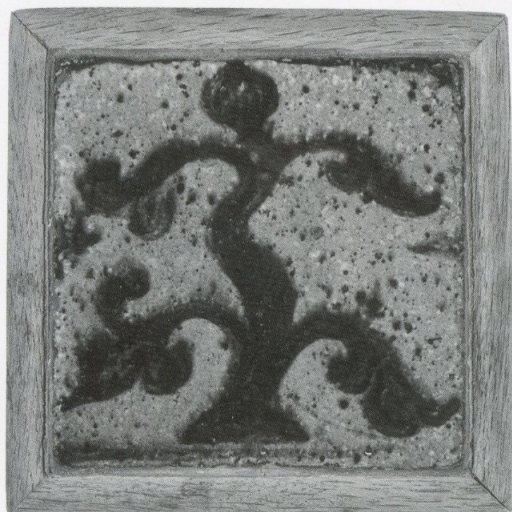
なお、巡回展としての出品のほかに、「民藝」運動の出発点ともいべき我孫子の地ゆかりの作品や、「民藝」の重要な支持者であった石丸重治氏、式場隆三郎氏旧蔵の作品など、数十点を千葉会場への特別出品として展示いたします。



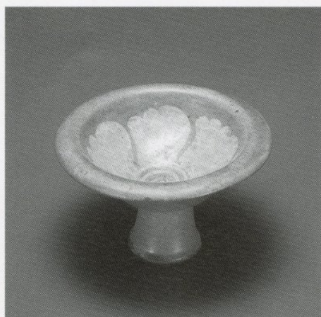
エリック・ギル
〈男と女の教会までの道程、男と女の教会からの道程〉
1927年 ガレリア・グラフィカ蔵



『工芸』25号 ガレナ軸特集 1933年1月号
マイケル&ヒロコ・ティーン・コレクション蔵



バーナード・リーチ 〈陶板:生命の樹〉 1926-30年頃
マイケル&ヒロコ・ティーン・コレクション蔵



濱田庄司 〈青磁白象嵌高坏〉 1923年 辻均一郎氏蔵

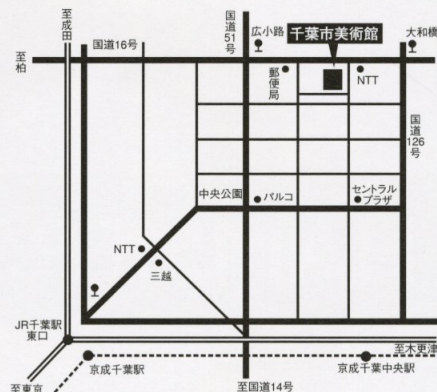
■ ギャラリートーク
会期中毎週土曜日の午後2時より・計6回
講師：当館学芸員

■ 講演会
9月6日(日)午後2時より
当館11階講堂にて
千葉大学教授 長田謙一氏による講演
「日本民藝運動とナショナルリティーの覚醒」

■ さや堂コンサート
9月12日(土)午後2時より
当館1階さや堂ホールにて
パロッドトリオ(フルート、チェンバロ、チェロ)
詳細は当美術館までお問い合わせください。

■ 次回企画展予告
9月29日(火)ー11月23日(月祝)
国立モスクワ東洋美術館所蔵 民族のかざり
中央アジア・コーカサスの美術

千葉市美術館
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
TEL.043-221-2311
展覧会のご案内：
ハローダイヤル TEL.043-227-8600



■ 交通案内
● JR総武線千葉駅東口より徒歩15分
● JR千葉駅前から
京成バス大学病院行(のりば7)「大和橋」下車徒歩2分
京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば7)または小湊バス八幡宿駅行(のりば4)「広小路」下車徒歩1分
「チーバス」(無料巡回バス)(のりば19)「中央区役所・美術館前」下車(11:00~18:00の毎時05分と35分に出発・水曜運休)
● 京成千葉中央駅東口より徒歩10分
※来館者専用駐車場は少ないので、自家用車での来館はご注意ください。